

2月3月

スケジュール

よてい へんこう
予定は変更になることがあります。

いなむ(就B)

☆毎週水曜日 14:00閉所

2月	3月
4(火)13:30閉所 25(火) 13:30閉所	11(火)13:30閉所 20(木) HAPPY りなむ 「暮の市」 25(火)11:30閉所

島田市金谷中町 2100-1 Tel 0547-46-1687 FAX 0547-45-5165

あじさい(就B)

☆第1.3 木曜日 14:00閉所
☆第2.4.5 木曜日 12:00閉所

2月	3月
4(火)PM 輝きミーティング/ 14:00閉所 5(水)ドリームまきのほら(さざんか) 6(木)語ろう会 12(水)防災訓練 25(火)PM 輝きミーティング 27(木)あじさいミーティング	6(木)ドリームまきのほら(榎原 序 舎) 11(火)語ろう会/14:00閉所 18(火)PM 輝きミーティング 20(木)泰善寺販売 25(火)12:00閉所 27(木)あじさいミーティング

★2/17(月)~2/21(金) 輝きウィーク参加(職場体験)
牧之原市細江 701-4 Tel 0548-22-5529 FAX 0548-23-9340

はぐるま(地活)

☆毎週木曜日15:00閉所

2月	3月
4(火)15:00閉所 6(木)語ろう会 12(水)防災訓練	11(火)語ろう会/15:00閉所 25(火)12:00閉所

牧之原市細江 701-4 Tel 0548-22-5529 FAX 0548-23-9340

らしく(就B)

☆毎週木曜日 15:00閉所

2月	3月
1(土)らしく市 3(月)らしく市振り返り 4(火)14:15閉所 5(水)ドリームまきのほら販売 (さざんか) 17(月)14:15閉所	6(木)ドリームまきのほら販売 (榎原序舎) 11(火)14:15閉所 25(火)12:00閉所、実践発表

★2/17(月)~2/21(金) 輝きウィーク参加(職場体験)
牧之原市菅ヶ谷219-1 Tel 0548-52-7447 FAX 0548-28-6622

ドレミ(就B)

☆開所日:月~金 9:00~16:00
★土日祝 きいちご OPEN! 12:00~15:00

2月	3月
3(月)にこにこクリーン/ ミーティング 5(水)市役所販売 19(水)市役所販売	3(月)にこにこクリーン/ ミーティング 5(水)市役所販売 19(水)市役所販売

島田市元島田9040 Tel 0547-37-7865 FAX 0547-32-9309

4月からこむぎと1つになってリスタート!

こむぎ(就B)

☆毎週水曜日14:30閉所

2月	3月
12(水)市役所販売 15(土)開所 25(火)14:30閉所 26(水)市役所販売	11(火)14:30閉所 12(水)市役所販売 15(土)開所 25(火)12:00閉所 26(水)市役所販売

島田市島 581-14 Tel 0547-46-5561 FAX 0547-46-5566

4月からドレミと1つになってリスタート!

ここカラ(地活)

☆毎週水曜日15:00閉所
☆開所日:月~金、第三土曜日

2月	3月
4(火)こころバス 13(木)サテライト 14(金)振替休日 15(土)家族茶話会 25(火)14:30閉所/看護実習 26(水)看護実習	4(火)こころバス 10(月)振替休日 11(火)14:30閉所 13(木)サテライト 15(土)家族茶話会 25(火)PM閉所

島田市島 581-14 Tel 0547-46-5561 FAX 0547-46-5566

【寄附のお願いについて】 こころは令和5年4月から社会福祉法人として新たなスタートを切りました。今まで多くの皆様に「会員」「賛助会員」としてご支援をいただいておりますが、社会福祉法人となり、会費制度が寄附制度に変更になりました。こころの活動のため引き続きご支援よろしくお願いいたします。なお、寄附は所得税の寄附控除、法人税の損金算入の対象となります。振込先：静岡銀行 島田支店 普通口座 0856888 ※寄附控除に必要な領収書を送付させていただくため、振込後に法人本部までご連絡ください。

相談室こころ島田・ことのは(自立生活援助)・モデル(基幹相談支援センター)・法人本部:島田市島 581-14 TEL0547-46-5561 FAX0547-46-5566
相談室こころ牧之原・相談室こころ吉田:牧之原市細江 701-4 TEL0548-22-5529 FAX0548-23-9340 社会福祉法人こころ

Social Welfare Corporation
KOKORO

こころ

vol.14
2025/2

発行元
社会福祉法人こころ
〒428-0007
静岡県島田市島581-14
Tel 0547-46-5561
FAX 0547-46-5566

あらたな出発!ドレミとこむぎ

今年は巳年です。巳といえは蛇、「再生」「成長」という意味があるそうです。確かに、蛇は脱皮を繰り返して成長していく生き物ですね。こころもいろいろなことを経験しながらみなさんとともに成長してきました。そして、蛇は、ゆっくりとしなやかな曲線を描きながら動きます。変化する環境に対して、柔軟な対応力があることを表しているとも言えます。こころも、ドレミの建屋が利用契約終了という新たな局面に対して、蛇のようにしなやかさと柔軟さをもって乗り越えていくために、4月からこむぎとともに活動していくことになりました。

ドレミは、昭和61年、島田市で初めて精神に特化した作業所として、家族会が開所しました。平成28年、家族会の運営から引き継ぐこととなりましたが、家族という当事者だからこその地域への発信が地域とのつながりを深め、今のドレミにつながっているのだと実感しています。利用者のニーズに合わせた支援は変わらず、お互いの力を掛け算するかのよう、学び合いながらいろいろなことにもチャレンジしてきました。

こむぎは、平成24年、当時金谷駅近くで運営していた就労移行支援事業と就労継続支援B型事業の複合型から単体型のB型事業所として、現在の島で運営することになりました。一人ひとりの「働きたい」という想いを大切に、個性を活かした支援や一般就労への支援にも力を入れてきました。

ドレミもこむぎも多くの人が利用し、その人らしい働き方、生き方、暮らし方を応援してきました。「温故知新」という言葉があります。「故(ふる)きを温(たず)ねて、新(あた)しきを知(し)る」という意味です。ドレミの歴史もこむぎの歴史もそれぞれ大切にしてきたもの、関係機関等との関係性や地元の方々の応援など、どれもなくすことなく、関係性はそのまま、しなやかに一歩ずつ前進していきたいと思ひます。

次のページでは、ドレミとこむぎの歴史を振り返るとともに、新しい出発に向けたみなさんの想いが綴られています。個のニーズ、地域のニーズ、今の時代に合わせ、リスタートするための事業所名もみんなで準備中です。一人ひとりのニーズに合わせた作業プログラムもメンバーとともに創っていく新たなB型事業所を目指します。

どうぞ、これからも変わらぬお力添えのほど、よろしくお願い申し上げます。



社会福祉法人こころ
副理事長 渡邊里佳

ドレミ

こむぎ

側地のたたむ作業は、
静電気とホコリとの戦い！

メダカの土曜開所楽しかった！
雄雌の選別はわからないなりに、
「ああかな」「こうかな」とやったね

もちつき大会・ここマル・感謝祭、
自分たちでイベントをやったのも楽しかった！



ドレミ市 大盛況！

1.5泊の北海道

弾丸ツアー！

メダカすくいやったね

みんなで力を合わせて、
仕事が多い時も乗り切れた！

仲間ができた



旅行の記念に...

私たちの軌跡

来年度からドレミとこむぎが1つになり
名前も新たにスタートします！
一歩を踏み出す2事業所が
それぞれの思い出を語り合いました



販売で地域の方と交流！

地域のいろいろなイベントに
参加したよ



草取りもみんなで協力！

ドレミでの初めてのイベント企画！
ドレミ市楽しかった

いろいろな作業があったね

布切ったり、車部品、農園行ったり、
施設外作業、木工とかもやったな～
クリーニングもいろいろな種類をたたんだよ

ドレミ人数多いな～、広い場所だな～
っていう印象が強かったよ！

ルームウェアのたたみ作業は、
入れ歯・お金・ブリーフ・サワガニなどなど
いろいろなものがでてきた！！

交流もいろいろあったね
地域のみなさんとの月1回のグランドゴルフなど
たくさんのボランティアさんが
いろいろな機会に来てくれた！

大変な草取りもみんなで協力！
毎年、金谷のお寺から依頼が来るようになって、
自分にできることが見つかったよ

地域の人に頼りにされている感じがうれしい

旅行に行ったね！

販売で自分がつくったもの・準備したものが
売れると嬉しい！

島の夏祭りが楽しかった
魚釣りゲームが定番になって、
地域の人を楽しみにしてくれている
そのつながりで、秋祭りのおもてなしができた！



思い出いっぱい

“ありがとう”とエールをこめて...

「ドレミがいい」「ドレミだからこそ」そんな声に後押しされながら30年余りがすぎました。初めて仲間に出会えたときのこと。作業の受注や業者との対応に奔走したこと。旅行やキャンプ、いろいろな行事を皆と一緒に上ったこと。研修で学んだこと。地域の方との交流でつながりが増えたこと。耐震問題で安全な場所に建物を移すことに苦労したこと。こころと出会ったことで希望の光が見えたこと等々...
今、いろいろな思いがあふれ、一言では言えませんが、とにかく「全てが楽しかった」に尽きます。本当に多くの人に支えられてきたからこそ、頑張れたと実感しています。本当にありがとうございます。

形は変化しても、この仕事にかかわる方たちの思いは同じだと思います。この“思いのたすき”をこれからもつないでいていただけたら嬉しいです。

ドレミ 30年生 小関 徳子

